

ファッションや美容の世界においても自由でジェンダーレスな美を多くの男性たちが求める中、21世紀の“新たな洗練”として今、カルティエはメンズ向けにミニサイズを提案する。異なるユニセックスという観点にとどまらないモデルの数々が、時計宝飾文化を見つめてきたメゾンのエッセンスを語りかける。

新倉哲也 (スタジオ201) 写真
 Photographed by Tetsuya Nishina (Studio201)
 MAFUMI スタイリング
 Styling by MAFUMI
 野上亜紀 ス
 Hair by Aki Nagami
 青木 敬 ハンドモデル
 Modelled by Kei Aoki
 近藤善美 (ワイケア) 編集
 Edited by Yoshimi Kinoshita (Y-care)

PANTHÈRE DE
 CARTIER
 mini & large
 パンテール
 ドゥ カルティエ
 ミニ&ラージ

1983年に誕生した「パンテールドゥカルティエ」は、時代とともにサイズも変遷してきた。2017年の再案はプレストのコマを小さくし、すべてをポリッシュ仕上げにすることで、ジュエリーのよさゆき輝きと滑らかなフィット感を実現。今年はそのラージサイズが最も人気を博した。その真骨頂モデルは、このシリーズの中でも最小のミニサイズ。カルティエ、ニューヨークのデザイナーとして活躍していたアド・テブローのアロン・ケルマンジュエラー「LOVE」とのコロディ・ネイトがよく似合う。時計「パンテールドゥカルティエ」。(左) ケープ、18KYG×SS (編42×幅21mm、厚さ2.7mm)、日常生活防水、161万4000円。(右) ケープ、SS (編25×幅19mm、厚さ6mm)、日常生活防水、57万7500円。(LOVE) プレスト、WG、125万4000円。(LOVE) リング、WG、32万7800円。

カルティエからの新潮流
 ミニウォッチという選択

